

第二回審査会の質疑に対する回答・補足説明資料

No.	第二回審査会質疑	回答	補足説明資料
1	住民説明会における周辺住民の方々からのご質問やご意見について、概要を整理して報告すること。	住民説明会でいただいたご質問・ご意見の概要については「資料2-1」に示すとおりです。	資料 2-1
2	方法書段階で、新施設に環境学習の機能を持たせる説明があったと思うが現時点でどのような計画を検討しているのか説明すること。	現時点で検討している環境学習機能の整備方針については「資料2-2」に示すとおりです。	資料 2-2
3	重要種の移植（移殖）場所の維持管理方法について説明すること。	重要種の移植（移殖）後の維持管理方針については「資料2-3」に示すとおりです。	資料 2-3
4	既存の南部クリーンセンターの建設時に実施された環境影響評価において確認された重要種について整理し、説明すること。	既存の南部クリーンセンターの建設時に確認された重要種については「資料2-4」に示すとおりです。	資料 2-4

住民説明会における意見等の概要

住民説明会におけるご質問・ご意見（合計 34 件）は、以下の 4 点に大別されます。

1. 環境影響への懸念（12 件）

大気質、騒音・振動、悪臭などの生活環境への影響や、植物をはじめとする自然環境への影響、排水処理方法などに関する質疑が挙がりました。

特に、大気環境の予測結果や基準値の考え方、安全性の確保に関する関心が高く、将来的な影響の程度を踏まえた慎重な対応が求められている状況でした。

2. 施設計画・運営（11 件）

焼却方式の選定理由や安全対策、焼却灰の処理方法、余熱利用の方針など、施設の構造や運用に関する質疑が挙がりました。

また、ごみの受入範囲、供用期間、工事車両の走行ルート、事業スケジュールなど、施設の運用条件や事業の進め方に関わる事項についても、幅広く関心が寄せられました。

3. 立地・地域対応（8 件）

塩江町が候補地として選定された理由や、地域への負担に対する懸念、行政の説明姿勢に関する意見が寄せられました。

また、説明会の周知方法や説明の進め方に関する意見もあり、今後の事業の進め方においては、引き続き丁寧な説明と地域住民との合意形成の重要性が求められている状況でした。

4. その他（3 件）

上記の区分に直接該当しない事項として、建設発生土の有効活用や環境学習の活用など、事業に付随する利活用や波及効果に関する意見が見られました。

あわせて、地域資源の有効利用や環境に配慮した取組に対する期待が寄せられました。

環境学習機能の整備方針

■ 環境学習機能設備の目的

環境学習機能設備は、多くの住民が環境問題に対する理解を深め、行動につなげることを目的として整備します。

SDGs や脱炭素施策と連携し、ごみ処理に限らず気候変動や資源循環など、環境全般について学べる内容とすることを検討します。

■ 環境学習機能の整備方針

1. 施設見学・解説機能

施設見学と連動した学習機能として、以下の設備を整備することを検討しています。なお、バリアフリーやユニバーサルデザインに配慮し、誰もが安全かつ利用しやすい設備とします。

(1) バーチャル見学設備

映像・画像技術を活用し、360 度のバーチャル空間による施設見学を可能とする設備の整備を検討しています。実際の見学と同様に施設全体の構造や処理工程を理解できるよう、施設の全景や断面を視覚的に確認できる内容とする予定です。

また、パンフレットやホームページに二次元コードを掲載し、来場時だけでなく施設外からもアクセス可能とすることで、時間や場所に制約されない見学環境を提供する予定です。

(2) 映像・解説設備

施設の建設過程から完成までの流れや施設概要について、映像コンテンツを作成します。

また、施設の運転状況をより具体的に理解できるよう、DCS（中央制御装置）や ITV カメラ（遠隔確認で使われるカメラ）の映像を投影可能な構成とする予定です。

(3) 見学環境の整備

見学者に対し分かりやすく効果的な説明を行うため、多様な説明手段と利便性の高い見学環境を整備する予定です。具体的には、説明用パンフレットを作成するほか、場内各所に設置したデジタル機器の導入により効率的な解説を可能とする予定です。

また、大人数の受入れが可能な見学者説明室の整備や工作室を設けることで、多様な学習機会に対応します。

さらに、見学者ルートについては、廃棄物処理工程に沿った分かりやすい動線とし、主要設備の見せ方や説明スペースの配置、展示・アーカイブ機能の充実により、理解促進と学習効果の向上を図ります。

2. 環境学習・体験機能

環境学習の中核として、実際に体験しながら理解を深める設備を導入する予定です。具体的には、見学者説明と環境学習の双方が活用できる体験型設備として整備するもので、プロジェクションマッピング等の最新技術を用いて、ごみ処理の仕組みや 3R の取り組みについて直感的に理解できる内容とする予定です。

動植物移植（移殖）後の維持管理方針

1. 基本的な考え方

本事業における希少種の移植については、単なる移植の実施にとどまらず、移植後の個体の定着および生息環境の機能維持を一定期間確保することを目的として、計画的な維持管理およびモニタリングを実施します。

一方で、対象とする環境は里地里山等の二次的自然を含み、長期的な環境の維持には地域における継続的な関与が重要となることから、当該特性を踏まえた管理方針とします。

2. 事後調査（モニタリング）実施期間

当面の予定として、植物については移植後 5 年間、動物については、移殖後 2 年～4 年間を考えております。

3. 事後調査期間中の維持管理

事後調査期間中の維持管理は以下の通り想定しています。

- ・日照条件の改善：
 周辺樹木の間伐、被圧する植物の草刈など
- ・移植先の地形修繕：
 破損した畔や水路の修復など
- ・その他、必要な管理：
 落葉・落枝の除去など

4. 長期的な方針

当該環境は、放置した場合に遷移の進行等により環境条件が変化する可能性があることから、長期的な生息環境の維持にあたっては、地域住民や関係団体との連携による継続的な管理が重要であると考えます。事業者としても、関係主体との協働による維持管理体制の構築に努めてまいります。

現有施設の環境影響評価における重要種の確認状況

1. 現有施設の環境影響評価の概要

図書名：高松地区広域市町村圏振興事務組合南部広域清掃センター更新施設整備事業に係る環境影響評価書

発行年月：平成 12 年 9 月

事業者：高松地区広域市町村圏振興事務組合

(1 市 5 町、高松市、塩江町、香南町、綾上町、綾南町及び国分寺町)

事業地の状況：



2. 環境影響評価時の動植物調査の概要

【植物】

調査項目：植物相（シダ植物、種子植物）、植生

調査時期：平成 10 年度の 3 季節

(春季・夏季・秋季)

今回のアセスで確認された重要な種の確認状況

イヌタヌキモ：確認なし

ギンラン：確認なし

アケボノシュスラン：確認なし

【動物】

調査項目：哺乳類、鳥類、爬虫類、両生類、昆虫類

※陸産貝類・魚類・底生動物は対象外

調査時期：哺乳類・鳥類

平成 10 年の 4 回（春季・夏季・秋季・冬季）

爬虫類・両生類・昆虫類

平成 10 年の 3 回（春季・夏季・秋季）

今回のアセスで確認された重要な種の確認状況

セトウチサンショウウオ：確認なし

ヒメタイコウチ：確認なし

ミナミメダカ：確認なし



【参考】

● 現有施設の環境影響評価における重要種の選定基準

- ・「香川県環境影響評価技術マニュアル」（平成 2 年、香川県環境保健部）
- ・「文化財保護法」（昭和 25 年法律第 214 号）
- ・「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律」（平成 4 年法律第 75 号）
- ・「第 2 回自然環境保全基礎調査動植物分布図香川県」（昭和 56 年、環境庁）
- ・「環境省版第 2 次レッドリスト（哺乳類・鳥類、植物・両生類・爬虫類）」（平成 9 年～10 年）
- ・「日本の絶滅のおそれのある野生生物ーレッドデータブックー」（平成 3 年、環境庁）
→昆虫類に適用

● 環境影響評価制度と現有施設環境影響評価手続きの時系列

西暦	和暦	内容
1983 年	昭和 58 年	香川県環境影響評価実施要綱 制定
1989 年	平成元年	初代レッドデータブック植物編（日本自然保護協会）発行
1990 年	平成 2 年	香川県環境影響評価技術マニュアル 発行
1991 年	平成 3 年	初代レッドデータブック動物編（環境庁）発行
1997 年	平成 9 年	第 2 次レッドリスト植物・両生類・爬虫類（環境庁） 公表
1998 年	平成 10 年	第 2 次レッドリスト哺乳類・鳥類（環境庁） 公表
1998 年～	平成 10 年～	現有施設の環境影響にかかる動植物調査を実施
1999 年	平成 11 年	第 2 次レッドリスト魚類（環境庁） 公表
1999 年	平成 11 年	香川県環境影響評価条例 施行
1999 年	平成 11 年	現有施設の環境影響評価準備書 公告
2000 年	平成 12 年	第 2 次レッドリスト昆虫類など（環境庁） 公表
2000 年	平成 12 年	現有施設の環境影響評価書 公告
2004 年	平成 16 年	初代香川県レッドデータブック 発行

※現有施設の環境影響評価手続き時は、香川県版レッドデータブックは未整理。